

「安平町農業経営基盤強化促進基本構想（案）」

意見募集（パブリックコメント）の結果について

安平町農業経営基盤強化促進基本構想(案)について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。意見募集をした結果について、下記のとおり取りまとめましたので公表します。

1. 募集期間 平成 24 年 2 月 6 日～2 月 29 日
2. 意見提出人数及び件数 1 人 1 件
3. 公表方法 町ホームページ、広報あびら(2月号)、早来庁舎農林課、追分庁舎住民総合相談室

	意見の概要	町の回答	備考
①	農家戸数が10年前と比較して25%も減少し、一戸当たりの経営耕地面積が拡大し、なおかつ高齢化が深刻化していると分析しているにもかかわらず、更なる一戸当たりの経営耕地面積を増やし、農地集積し、農業所得を増やしていくことや、法人経営を進めること、経営の多角化など、これまでの農業政策で言われてきた方針と同様とを感じる。これで本当に果たして担い手の育成が図られるのか、これまでの農業政策としてやってきたことは、現状は悪化の一途ではないか。	町においては、農業経営基盤の強化の推進に当たっての基本的な考え方において、経営体の多角化を図る一つとして、環境との調和に配慮した農業を推進する一環で「クリーン農業」を明記してきたところです。 近年は、本町において有機農業を取組む農業者や有機農業に関心を持った新規就農希望者も増えている現状を鑑み、先に述べた基本的考え方と同様の趣旨で捉えることができる「有機農業」についても明記することといたします。	関連施策 P2～ 3 農業経営基盤の強化の促進に関する取組み (1)農業経営基盤の強化の推進に当たっての基本的な考え方 この意見による計画の修正部分 P3 「クリーン農業やアグリビジネス等による経営の多角化」を 「 <u>クリーン・有機農業</u> やアグリビジネス等による経営の多角化」に修正

<p>「消費者のニーズに対応した農業」「地域の実情に即した多様な担い手の育成」を謳うのであれば、クリーン農業だけでなく、有機農業も表現し、営農類型にも事例を挙げていく必要を感じる。また、営農類型に「有機農業」の事例がないと、安平町で、有機農業で営農していくことや、有機農業で新規就農したい担い手に、制度の活用が出来ないとか、認定農業者の認定や青年給付事業など、農業施策の恩恵を平等に受けられない危惧が生じる心配がある。</p>	<p>また、有機農業の営農類型への明記については、基礎データ等の情報収集が関係機関等において、現時点で不足していることから、次回策定の時までの検討課題としていきたいと考えておりますことと、本基本構想の営農類型に有機農業の事例がない場合についても、先に述べた基本的な考え方から逸脱するようなケースでない限り、現行どおり認定農業者の認定や各種農業施策の活用等の制度運用はできるものと考えております。</p>	
---	---	--

■提出意見による計画の修正部分

計画内 P3

3 農業経営基盤の強化の促進に関する取組み

(1) 農業経営基盤の強化の推進に当たっての基本的な考え方

修正前	修正後	関連意見
クリーン農業やアグリビジネス等による経営の多角化	クリーン・ <u>有機農業</u> やアグリビジネス等による経営の多角化	①